

麻生区区民会議 第9回地域交流・文化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年9月12日（月）午後5時00分～7時35分
- 2 開催場所 麻生区役所第5会議室
- 3 出席者 [地域交流・文化部会委員]
石井委員、植木委員、菅原委員、竹市委員、武濤委員、田中委員、
土井委員、柳島委員
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長、川里
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 事
 - (1) 調査審議課題について
 - ア 「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」について
【報告事項】
 - ・「しんゆり・芸術のまち」づくりとして展開される各事業へのヒアリング調査結果のうち、前回部会後に追加された「あさお芸術のまちコンサート」「あさお区民まつり」「あさお福祉まつり」について、石井委員から報告された。
 - ・「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）」のヒアリング時にいただいた昨年度プログラムの配布について、武濤委員から補足説明された。
 - ・「区民まつり」の運営面について、菅原委員から補足説明された。**【主な意見等】**
 - ・「区民まつり」の運営は、市（区）の職員が担うところが大きく、課題である。
 - ・各イベントについて、「東日本大震災のための自粛」という理由で中止になるのはどうかと思う。例えば、「あさお福祉まつり」では、毎年市民館ホールで行われる「にぎわい部会（保育園や障害者団体が各種演芸発表）」ができなくなってしまった。参加者にとってみたら、楽しみにしていたし、発表の場も失ってしまい、残念だと思う。
 - ・「kirara@アートしんゆり」の冬のイルミネーションについても、民間企業の「やろう」という声に対し、行政では「慎重に」と、温度差がある。
 - ・ヒアリング報告にもあるとおり、もっと区民が中心となって進められれば、区の職員の負担も減ってよいのではないか。
 - ・心配しているのは、「芸術・文化のまちづくり」をどのような形でまとめていくか、についてまだ具体的に話し合われていないことである。
→これまでのヒアリング結果報告を受けて、次回、課題解決の考察と提案（素案）を提出し、審議検討したい。**【決定事項】**
 - ・次回部会において、今までのヒアリング経過を受けた考察・検討を行う。

イ 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」について

【報告事項】

- ・ 前回までの審議内容に基づきまとめ直した資料について、事務局から説明した。
- ・ 区社協からの資料提供と改善見直しのきっかけなどを事務局から報告した。
- ・ 課題解決の取り組み「①」について平成24年度予算化と発行のスケジュール、「②」について予算措置の有無、それぞれを事務局から補足説明した。

【主な意見等】

- ・ 個々の課題解決策をどのように進めるか、1つずつ片付けていく必要がある。
- ・ 資料中にある各課題解決への取り組みについて、例えば「⑥と⑦」が土井委員、「⑨」が柳島委員、「⑩と⑪」が田中委員、と各主担当を設定し、それぞれどのような事をアウトプットしようとしているかを説明してもらってはどうか。
- ・ 「⑥と⑦」部分、区社協のささえあい事業については、「こういう事が必要ではないだろうか」という投げかけの段階で、まだ具体的な案はない。
- ・ 課題解決の取り組みについて、これからどれを取り上げていくのかを絞り込まなければならぬと思う。
- ・ 区民会議は、区民のために「〇〇な提案をした」と区民にしっかりと伝える必要がある。各委員が提案したことについて、今後どういう事を行ってもらえるか（あるいは協力してもらえるか）、事情を説明して、各関係団体と調整していくべきであると思う。本部会の最初に設定したメインテーマの1つ、「高齢者・障がい者の暮らしやすい環境」をどう作ることができるか、どういう環境を創出できるのか、を考えることが重要だ。
- ・ 例えば、区町連の幹部とこれから折衝して、何らかの形で「環境づくり」の取り組みを区民に還元していく形と、すでに実施済みの3町内会からのヒアリングを受けて、具体的に「環境づくり」のために何ができるか、を提案としてまとめていく形が考えられる。
- ・ 個々の課題解決の取り組みについては、中心になる委員が具体的に進めればよい。
- ・ 資料中に挙がっている11項目の取り組みについて、すべてをこれから議論するのは難しいから、半分くらいに絞り込む必要があると思う。
- ・ 例えば「⑤定年退職者の参加促進」なら、今から講座を開設するなどの取り組みは間に合わないだろう。
- ・ 活動の担い手の問題については、各団体や町内会等で組織が高齢化している現実と相まって、具体的な人材をどのように抜擢していくかの像が見えない。（定年退職者を含め）「地域人材の発掘と育成」の部分については、本部会で扱うメインのテーマとはならないだろう。
- ・ 「⑤定年退職者の参加促進」は、「④地域人材の発掘と育成」の具体化の一つと言えるだろう。
- ・ 定年退職者の参加促進のための取り組みについては、すでに麻生市民館と市民交流館やまゆりとはで折衝している。今後、区民会議（地域交流・文化部会）という立場で、取り組みについての提案をしていきたい。
- ・ 定年退職者は非常に大事な人材で、担い手として確保すべきである。例えば、区

民会議からの提案をきっかけに、定年退職者を地域における活動の担い手へと育てる講座が開設された、等の成果が得られるとよい。

- ・区民に伝えるべきは「暮らしやすい環境づくり」であって、担い手の問題は直接「環境づくり」とは違う話ではないだろうか。
 - 「高齢者・障がい者が暮らしやすい環境づくり」を進める前段として、担い手の問題がある、と考える。また、区民会議から活動の担い手の確保と育成の問題について、何らかの形で提案する意義はある。
- ・区民会議が、区長へ提言報告を行うのは当たり前のことであって、それが目的ではない。区民にとって益となること、ここでは「暮らしやすい環境づくり」についての成果を何か、報告したい。
- ・11項目の取り組みについて、まずは絞り込み、その上で取り組む順番や進め方を決めたらよいと思う。
- ・区社協事業の取り組みについては、「小グループでの展開」、「支援サポートの連携」、「事業の改善」の3点について検討したい。
- ・町内会・自治会への助成案としては、絆づくりの実例紹介などのソフトな面と、制度設計などのハードな面の2つの方法が考えられる。
- ・「ささえあい事業」と「ご近所の絆」が繋がらない。「絆づくり」をどうするか、ということを検討する必要があるのだろうか。
 - 具体的に、町内会等と話し合っ「絆づくり」の行事等を取り込んでもらえることになればよいと思う。町内会や班・グループでの「絆づくり」が、人と人とのささえあいに繋がり、区社協の事業展開の基盤ともなる。区民会議からの提言を受けた結果として「区社協の事業が身近なものになった、利用しやすくなった」と区民から声が上がれば、よいと思う。
- ・「⑨高齢者の交通手段」については、実際に高石でコミュニティバスが走り始めたばかりである。区民はとても期待しているが、現時点でどういう点が運営上、問題となるのかまでわからない。しばらくは様子見が必要である。採算を合わせるためには市がある程度バックアップすべきである。また、岡上・多摩美・千代ヶ丘などほか地域でも検討すべき、という提案はできるだろう。
- ・「⑩ご近所マップ」については、かつて町内会で取り上げられたこともある。具現化するには町内会の協力が必要であり、「⑥」「⑧」と同じ枠組みで捉えてもよいのではないか。
- ・「③各取り組みのPR」については、ボランティア団体へのヒアリングの中で、各団体からの要望としてあがったものである。
- ・「①と②」は行政から、「③」は団体から、幅広く広報活動としてひと括りにできるのではないか。
- ・「⑥」に関連して、ささえあいについて小グループでどのような展開を図り、また行政はどんな協力ができるのか、を検討して提案したい。
- ・課題解決の取り組み「①～③」については、成果物を残すことができるが、例えば「②ガイドブック（保存版）を発行」するとして、どれくらいの情報を盛り込んでコンパクト化し、どこに配布するのか、など詳細を詰めなければならない。
- ・実際にこれから何かを実践するならば、もう時間がない。

【決定事項】

- ・課題解決の取り組みについて、現在資料中に挙がっている11項目をさらに整理して、次のとおり分類し直した。また、それぞれに主担当を置いた。

分類	取り組み・検討内容	主担当	備考
I	①市政だより麻生区版の活用	竹市、武濤、 鴨志田	
	②ガイドブック（保存版）検討		
	③各取り組みPRの場を設定 （第2回区民会議フォーラム）		
II	④地域人材の発掘と育成	植木	※提言に盛り込む レポートのみ
	⑤定年退職者の参加促進		
III	⑥町内会・民生委員への支援・サポート とささえあいの展開	土井、菅原	
	⑧「ご近所の絆」づくりの拡大 ～各町内回答で実施のイベントなど		
IV	⑦区社協事業の分析と考察	柳島、魚本、 石井	
V	⑨高齢者の交通手段の確保検討	柳島	
VI	⑩ご近所防災マップの作成と紹介	田中	
VII	⑪コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワークの取り組み検討	田中	

※文中及び表中の丸数字（①～⑪）は、配布資料中で「課題解決策の具体的な取り組み」を列挙した際、整理しやすいように便宜上用いたものである。

- ・各分類テーマをさらに絞り込むために、特別検討会を開催する。
→10月4日（火）17時から、麻生区役所企画課裏の打ち合わせスペースで開催。
- ・特別検討会においては、今後の進め方と報告取りまとめの方向性などについて、それぞれの分類ごとに主担当者から発表してもらう。各発表を受けて、部会として残りの任期で取り上げていくものの選定、あるいはどのような形でそれぞれの課題を取り上げて報告にまとめていくか、の検討を行なう。
- ・「II」の取り組みについては、次回の発表に先行して、本部会の取り組みとして先に進めてよいものとする。
- ・各課題解決の取り組みについて、それぞれの分類ごとに、レポート（紙資料）を作成し、9月27日（火）までに事務局へ提出する（但し、⑩と⑪については、本日、田中委員からすでに資料提出済み）。事務局で資料を取りまとめた上で、事前に各委員に送付するので、各自で読んでおいてもらう。
- ・課題解決の取り組みについて、新たに7つに分類し直したものを反映させた資料を、事務局で作成して各委員へ提出する。

ウ 「第2回区民会議フォーラム」について

【報告事項】

- ・資料に基づき、第2回区民会議フォーラムの企画立案から実行までの流れを事務

局から説明した。

【主な意見等】

- ・部会全体での企画案作成は、時間的に厳しい。
- ・フォーラムのプロジェクトの骨格部分をどうするか、については、先ほどの課題解決の取り組みの分類「I」グループの担当を中心に進めることとしてはどうか。
- ・区民会議フォーラムについての企画は、企画部会や環境・緑化部会との調整も必要だから、企画部会委員が中心となればよいのではないか。
- ・部会として今後取り組むメインテーマが決まらないと、フォーラムで何をやるかの話も進まないのではないか。
→次回以降、部会としてメインに取り上げていく課題解決の取り組みが決まり次第、その主担当者にもプロジェクトに参加してもらえばよいのではないか。

【決定事項】

- ・第2回区民会議フォーラムの企画案作成等については、部会内にプロジェクトを立ち上げ、そのメンバーを中心に叩き台を作成して部会で決定する流れとする。
- ・プロジェクトのメンバーは、課題解決の取り組みで分類「I」に入ったメンバー（竹市委員、武濤委員、鴨志田委員）とする。但し、今後部会で中心的に取り上げる取り組みテーマなどが決定した時は、そのテーマ分類の主担当者にも加わってもらう。

(2) その他

【報告事項】

- ・9月25日（日）の第1回区民会議フォーラム開催について、確認する。

【決定事項】

- ・次回、第10回部会は、10月12日（水）15時から、麻生区役所第2会議室で開催する。